



“憲法に基づいた平和行政を進める”吉村備前市長

平和行進岡山県内行進2日目の7月17日は備前市役所を出発し瀬戸内市役所まで行進しました。この日の行進には37名が参加しました。午前9時から備前市役所玄関前で行われた出発集会には備前市吉村市長、守井市議会議長が出席されました。

吉村市長は「被爆77年の今年、ロシアのウクライナ侵攻で世界の平和が脅かされる事態になった。憲法に基づいた平和行政を進めていく」と参加者を激励

くださいました。中西市議は「戦時中備前焼で手榴弾を作らされた。備前焼は平和の焼き物」と平和の尊さを訴えられました。



戦争の回避は対話で 武久瀬戸内市長

午前中の行進は西鶴山公民館までで終了し、行進団の代表5人は瀬戸内市役所を訪問しました。市役所には地元の方や島津、厚東共産党市議も同席されました。武久市長は「今年も元気な姿でみなさんに会えてうれしい。平和で当たり前がむづかしい状況になっています。戦争の反対語は「平和」ではなく対話だ。市としてウクライナ支援にいち早く取り組んだ。世界の一員としての考えで行きたい」と熱く話されました。島津副議長は「憲法9条を持つ国として、核兵器禁止条約参加を政府に求めたい」と挨拶されました。



写真上・瀬戸内市役所玄関前で右から3人目武久市長、その右隣の島津副議長。写真右・岡山市西大寺の原爆慰霊碑に参拝しました。写真左・上、吉村市長からペナントと募金を、下、守井議長からペナントと募金をいただく通し行進の伊原さん。なお、備前、瀬戸内の首長、議長から「No1」署名もしてもらいました。

